

JASAにおけるニューノーマルとは？

－JASA事業執行の現状と今後の見通しについて－

新型コロナウイルスの感染拡大防止の目的で、全てのJASA活動について延期もしくは中止のお願いをいたしておりました。緊急事態宣言が解除され、感染防止に努めながら、新しい様式（ニューノーマル）を意識した経済活動の活性化が望まれます。JASA活動も新しい局面を迎えることとなります。

3密を避ける、こまめに換気する、医療関係や、出入国などは行政に従うとして、ポイントをまとめてみました。

①コミュニケーション

テレワークの浸透で、地方との距離は縮まったと感じられる反面、隣の方との距離は離れました。

②事務所の在り方

オフィスの在り方は、従来集中して合理化を推進してきた施策から、分散型にして、地方活性化、サテライトオフィスによる職住近接、車での通勤など。都内の大型オフィスのニーズが少なくなっています。

③モノづくりの方法

従来、開発試作機を開発要員が共有し、デザインレビューを頻繁に実施して、品質を向上してきた開発手法がとられてきました。今後は、発注する側もテレワークになり、Web会議で業務を遂行、試作機も持ち帰りOKとなり、チーム開発から個人開発になり、個々人の力量が明確になってきます。

④営業活動

景気の背景としては米中関係の悪化の中、コロナでの益々の低迷、オリンピック延期による回復手段の先送りがあり、顔を合わせでの信頼関係に頼っていた営業から、Web会議でのアプローチの手探り、数少ない現場での案件取得が重要となっています。

⑤会議

移動時間や交通費をかけ、対面でのだらだらと長い会議から、Web会議のように距離を意識せず、用件のみを検討し、発言がなければ存在意義を失う形へ変化します。

⑥交流会・懇親会

バイキングや、立食パーティが出来なくなり、人脈をいかにつくるかが課題となっています。

⑦人財育成・セミナー・カンファレンス

オンラインでのウェビナーもしくは3密を避ける工夫を余儀なくされたリアルセミナーとウェビナーとのハイブリッドなセミナーが主流になりそうです。

⑧展示会、国内外視察

リアルの展示と、仮想展示のハイブリッド型が主流になりますが、出展者や来場者が満足できる新たなプラットフォームが必須となるでしょう。国内外視察も実施が危ぶまれています。

⑨ETEC等の試験

受験生の安全、試験官、採点者の安全を考えた、スケジューリングが必要です。

⑩家庭・社会

個人の体調管理とバイオデータ収集システムや、接触確認アプリなどのトレーサビリティが必要になります。通勤も少なくなり、満員電車のストレスは減少する一方、仕事をすることを前提としていない家庭でのテレワークは、良くも悪くも人間関係に大きな変化が発生します。心のケアも必要です。さらに、インターネット接続費用、通信費など、今まで、会社が支払った経費が家庭で負担増となります。

これらを踏まえ、ニューノーマルの定着を意識したうえで、2020年度後半の活動を活性化していきましょう。

⑪支部会議、委員会活動

支部会議は各支部が所在する地域のルールに従い、その時の状況を鑑みてコロナ対策を行ったうえで開催する。
委員会活動は、基本、リアル開催からデジタル開催（Web会議）へシフトする。デジタル開催にすることで全国からの出席が可能になることを期待しています。

委員会、WGは地域ごとに分科会を構成しリアルでの開催も検討する。

⑫技術力向上、人財育成

セミナーはウェビナーを前提に開催する。ウェビナーを行うための設備投資は早々に検討しますのでご提案ください。専門性を持ったセミナーは有料化（会員割引あり）し事業として立ち上げることを狙います。

⑬ビジネスマッチング

①展示会事業

3年先を見据えた魅力ある業界団体の展示会を目指し、2020年度のET/IoT展をデジタル開催します。期間が限定されない、海外からの参加などのメリットが見込めます。2021年度以降はリアルとデジタルのハイブリッド開催へつなげていきます。

②協業セミナー

企業間のつながりを支援することが目的の為、各地域の特性を活かしてデジタル開催を念頭に計画していきます。

③国内外視察

国内視察については視察先の地域のルールに従い、その時の状況を鑑みてコロナ対策を行ったうえで計画実行をお願いします。海外視察については当面行わない。

④その他イベント、セミナー

開催する地域のルールに従い、その時の状況を鑑みてコロナ対策を行ったうえで開催をお願いします。

委員会、WG、セミナー等の後に懇親会を行ってきましたが、Web会議を行うことが主流となってくると、人と人とのつながり方を検討する必要があります。先ずは、デジタル上にコミュニティを作り、委員会等関係なしにコミュニケーションが取れる仕組みづくりの検討をお願いします。

⑭政策提案関連

業界としての提言活動は引き続き推進します。補正予算等の支援、補助金等についてはこまめに情報発信を行いますので、ご利用ください。

JASAは、モノづくりの協会ですから、このピンチをチャンスととらえ、新しいビジネス形態を創出することはできるはずです。皆様とアイデアを共有し協力しながら、この難局を克服してまいりたいと決意を新たにするところです。会員一丸となりこの難局を乗り越えていきたいと存じます。是非とも業界の活性化にご協力お願いいたします。

※くれぐれもJASA活動で感染者を出さないように努めてください。

※特に懇親会は気が緩みがちです。人数を制限する、対面を避ける、1時間以内にする等3密を避ける対策をお願いします。